

「選ばれる会社になる」 働き方改革のポイント -1

いりどり社会保険労務士事務所
代表 内川真彩美氏

は、男性が働き、女性が家を守る、と役割分担が強かったため両立の必要性が薄かったものの、今や共働き世帯の増加で仕事と生活の両立が重視されるようになりました。当然、生活は人それぞれですから、「どれくらい働きたいのか」「どのように働きたいか」というニーズも多様化しています。

社会の変化に企業も対応を改革へ政府が3つの指針

去に生活の変化で離職した方も仕事に復帰しやすくなります。

3つ目は、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保です。現在、働いている人の約4割が非正規雇用ですが、その賃金は正規雇用と比較すると7割を下回っています。7割もの待遇差がある状態で、仕事への意欲が上がるでしょうか。この待遇差の改善により、皆の働く意欲の向上を目指しています。

「青果卸売市場業者にも働き方改革が必要」というのは、業界の共通認識。求職者も、そして自社の従業員に選ばれる会社になるには実践したいところだ。しかし、注意するポイントや手順などが「わからない」という業者が多いのではないだろうか。そこで、社会保険労務士として企業の支援を行う内川真彩美氏が、連載で基本の解説から実践に向けたアドバイスをする。

「働き方改革」とは？

初めまして。社会保険労務士の内川と申します。私たちは、企業における「ピット」に関するプロ。採用から教育、評価、定着、退職など、人を雇うことで発生する問題や悩みを、企業に伴走しながら解決しています。そんな中、数年前から業界や企業規模を問わず注目されているのが「働き方改革」です。

厚生労働省は働き方改革のことを「働く方の置かれた事情に応じて、多様な働き方を選択できる社会を実現することで、働く人がより良い将来の展望を持つようにすること」を目標としたものと説明しています。それぞれが求める働き方ができれば、仕事への意欲も上がり、結果、企業の売上や利益

このように、働き方改革は、働く人の意欲を向上させることで効率良く働いてもらい、企業の売上や利益増加に繋げ、企業存続を目指すためのものです。終身雇用制度も崩壊し、転職も珍しくなくなりました。皆、入社時だけでなく、「この企業で働き続けるべきか」と自身の働く場所を日々選り続けている。企業

多様な働き方に対応し 仕事への意欲向上、業績アップへ

が選ばれ続けるためには、社会の変化を敏感に察知し対応する姿勢が重要な

増加にも寄与しますよね、という考え方です。

社会の変化は、コロナ禍も相まって加速しました。社会が変わり人々の考え方やニーズも変わったのであれば、働く場所(企業)も変わらなければ存続できません。そこで政府は、対応指針を3つ出しました。これこそが、働き方改革の指針です。

1つ目は、長時間労働の是正です。朝から夜まで休みなく長時間働いていると、当然、多様な働き方に対応できません。

2つ目は、多様で柔軟な働き方の実現です。人口減少により、今後、採用はさらに難しくなります。そのような中、子育て、介護、治療、家族の転勤のように、生活の変化があった時でも働ける仕組みを整備しておけば、優秀な人材の離職を防げます。さらに、過

さて、近年、睡眠を経営戦略の一つに掲げる企業が増えているのを「存心」でしょうか。そこで今回は、「睡眠」の観点から働き方改革を考えます。

(月一回掲載)

いりどり社会保険労務士事務所 代表
内川 真彩美氏

特定社会保険労務士。約8年半、IT企業でシステム開発に従事した後、社会保険労務士として開業。現在は前職の経験を活かしながら、企業の制度設計や働きやすい組織作りを支援を行っている。

講演多数。
https://www.wiriodori-sr.com

さて、働き方改革とは何でしょうか。労働者の権利をより尊重するためのものでしょうか。答えはノーです。働き方改革が始まった背景は、「労働力不足」と「働き方のニーズの多様化」です。

ご存じのように、少子高齢化により人口は減少し続けています。それに加え、共働き世帯の育児、高齢化による家族の介護など、仕事と生活の両立が求められる社会になりました。かつて

現です。人口減少により、今後、採用はさらに難しくなります。そのような中、子育て、介護、治療、家族の転勤のように、生活の変化があった時でも働ける仕組みを整備しておけば、優秀な人材の離職を防げます。さらに、過



講演多数。
https://www.wiriodori-sr.com

外税取引へカルテル

方針を固めていた。

この段階では「小売価格が税込みのままでは、結局は内税取引を強要されるのでは」という危惧もあった。しかし、日本スーパー

一方、いったんカルテルに参加した組合員が、実者から不当な要求を受け、にもかかわらずそれに応じた場合は、所属組合を通

品目	数量 (t, %)			価格 (円, %)		
	東京市場計	前年同月比	前旬比	東京市場計	前年同月比	前旬比
野菜総数	36,192	96	99	284	113	107
ダイコン	1,999	94	90	105	110	111
ニンジン	1,960	115	101	143	95	103
ハクサイ	2,153	109	117	69	102	110

品目	数量 (t, %)			価格 (円, %)		
	東京市場計	前年同月比	前旬比	東京市場計	前年同月比	前旬比
サツマイモ	522	101	109	290	90	96
ナガイモ	272	96	137	443	153	103
ニンニク	55	97	74	839	94	106
ネショウガ	184	98	105	559	121	95

東京都